

# 大阪府立大学の平成28年度決算の概要と

## 積立金の第3期中期目標期間への繰越について (案)

(単位:百万円)

### 1. 平成28年度の決算の概要

○経常費用	19,880
○経常収益	19,962
◎ <u>経常利益</u>	81
(=経常収益-経常費用)	
○臨時損失	47
○臨時利益	74
◎ <u>当期純利益</u>	<u>108</u>
(=経常利益+臨時利益-臨時損失)	
○目的積立金取崩	70
◎ <u>当期総利益</u>	178

#### 臨時損失 47百万円の内訳

・固定資産除却損 47

#### 臨時利益 74百万円の内訳

・運営費交付金収益 25 (退職給付債務)

・その他臨時利益 49

### 2. 平成28年度における大学の経営努力 178百万円の内訳

(経費の削減) 外部研究資金の間接経費の充当による既存経費の縮減によるもの

※学生在籍者の充足率については、大学の学域・学部及び研究科並びに工業高等専門学校とともに90%を上回っている。

### 3. 第2期中期目標期間終了時の積立金(利益剰余金)の内容

○積立金	223
○目的積立金	630
○前中期目標期間繰越積立金	151
◎ <u>積立金総額</u>	1,004
(現金の裏付けのない積立金 55) ※	

#### 積立金残高 223百万円の積算

前年度からの繰越額 45

当期総利益 178

#### 目的積立金振替 630百万円の積算 ★

前年度からの繰越額 735

当期取崩し分 105

〔資産取得 35

〕費用計上 70

★中期目標期間終了時の清算のため、目的積立金も積立金に振替

※リース契約等によるもの

#### 4. 地方独立行政法人法第40条第4項により承認を受けようとする額

##### 三 次期中期目標期間への繰越額 979百万円 <大学案>

◎積立金総額	1,004	
・大阪府への返納額	25	(運営費交付金収益(退職給付債務))
○次期中期目標期間への繰越額	979	
・現金の裏付けのない積立金	55※	(前中期目標期間繰越積立金振替分) (会計処理上生じた利益のため、次期中期目標期間へ繰り越す必要があるもの)
・現金の残っている積立金	924	(経営努力相当額で次期中期目標達成に必要な経費)

#### 5. 次期中期目標期間に924百万円を繰越す理由<大学案>

【繰越理由】事業継続～重点戦略目標への対応～

第3期中期計画で掲げる重点目標「社会で活躍する応用力・実践力を備えた高度人材の育成」「大阪からのイノベーションに繋がる研究の推進」「グローバル展開に向けた環境の整備」の達成に向けた取組を推進する。

(事業経費)

- ・学域の志願者数減少を改善し、入学検定料等の学生納付金の増加を推進するため、重点的に入試広報を行うとともに、インターネット出願等により志願者の利便性向上を図る。

〔所要額 170 百万円〕

- ・本学学生の海外派遣において中期計画人数(300名以上)を達成するため、海外派遣プログラムへの支援及び派遣プログラムの開発を推進する。〔所要額 140 百万円〕

<つばさ基金「海外留学生支援事業」、後援会「国際交流事業」>

- ・高額な研究機器等の有効活用(共同利用や学外利用など)を促進するとともに、老朽化している研究・実験機器等を計画的に更新・改修を行うことで、良好な教育研究環境の整備・充実を図る。〔所要額 440 百万円〕

◇大型研究機器のリース、共同利用機器の更新

◇新設した現代システム科学専攻の教育環境(学生の実験・実習機器等)の整備

◇総合図書館(地下2階)電動集密書架の改修

◇施設整備及び保全(防水・外壁改修等)や省エネルギー(外灯LED化等)への取組

- ・教育研究に必要不可欠な学術雑誌や論文等を収納した電子ジャーナル等について、世界的な価格高騰に対応し、タイトル数の維持継続することで、教育研究環境の整備を推進する。

〔所要額 200 百万円〕